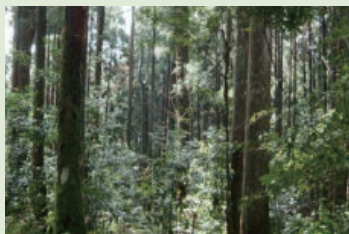


「屋久島の地杉を活かした庁舎づくりと、地杉の特徴を活かしたブランド戦略」

説明会で行われた、庁舎建設アドバイザーの松下修先生（松下生活研究所代表）の講演内容をご紹介します。

テーマは、屋久島の地杉を活かした庁舎づくりと、地杉の特徴を活かしたブランド戦略です。



屋久島の森



黒芯のある屋久島地杉



島の製材所



黒芯の内装材

●戦後に植林した多くの地杉が伐期を迎えています

- ① 利用可能量は、民有林約 100 万 m³、国有林約 140 万 m³、合計約 240 万 m³
- ② 現在の年間活用量は、民有林・国有林合わせて約 1.1 万 m³にすぎない
- ③ 今後いかに木材を有効活用するかが屋久島の林業の大きな課題

●屋久島の地杉には一般の杉にはない4つの特徴があります

- ① 香りが甘く鎮静効果が圧倒的
 - ・花崗岩の地質（アルカリ性）で育つため、樹脂分が多く香りが良い
 - ・気分が落ち着く、熟睡できるなど癒し効果が抜群
 - ・鎮静効果のあるセスキテルペンは本州の杉の 20 倍
 - ・消臭・抗菌など※成分分析：谷田貝光克東京大学名誉教授
- ② 黒芯が多く、見た目の重厚感がある
- ③ 硬くて強い
 - ・一般の杉と比較して密度、圧縮強さが高く硬い※鹿児島県工業技術センター試験結果
- ④ 割れにくい
 - ・一般の杉と比較して割れにくいことが大工さんの経験で分かっています

●屋久島の貴重な資源である地杉の商品化を推進します！

- ・床材、壁材、水廻り（トイレ・浴室等）の部材、建具に最適！
- ・テーブル天板など家具材に最適！
- ・文具、生活用品等、様々な商品を展開！



●新庁舎建設における地杉の利活用の基本方針

島の資源と人材を最大限活用し、林業の活性化をはじめ地域産業の振興に貢献



●屋久島の森林資源を活用して循環型社会を目指します！

- ① 庁舎建設を好機と捉え、地杉の商品化やブランド化を進めていきます
- ② 庁舎建設のために導入した木材加工機器を庁舎建設後も活用していきます
- ③ 島外への販路を開拓していきます